

平成 28 年度マリンサイエンスギャラリー

サンゴ礁の生きものたち

平成29年2月11日(土・祝)～5月7日(日)



■交通

JR外房線： 鶴原駅から徒歩約15分
勝浦駅からタクシーで約10分
勝浦駅から小湊鉄道バス「ミレーニア勝浦」
行き「海の博物館」下車(毎日運行) または
「海中公園・海の博物館」行き終点下車
土曜日のみ)
駐車場： 午前8時30分～午後5時15分
普通車2時間まで200円
障害者割引あり

■ご利用案内

開館時間： 午前9時～午後4時30分
入館料： 一般 200円
高校・大学生 100円
中学生以下、65歳以上、障害者 無料
休館日： 月曜日(祝日の場合はその翌日)
5月1日(月)は臨時開館します。



千葉県立中央博物館 分館
海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821
URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

CHIBA

熱帯・亜熱帯の浅い海に広がるサンゴ礁域は、複雑な環境にさまざまな生物が共存して生活していることから、陸上の熱帯雨林と並び生物多様性の宝庫と呼ばれています。

千葉県立中央博物館分館海の博物館 平成28年度マリンサイエンスギャラリー「サンゴ礁の生きものたち」では、生きものが作った地形であるサンゴ礁がどのようにしてできたのか、サンゴ礁を作り上げる造礁生物の代表的なものであるイシサンゴ類はどのような動物か、サンゴ礁域に住む動物たちがイシサンゴ類とどのようなかかわりを持って生きているのかなどをくわしく紹介します。



沖縄県石垣島白保付近のサンゴ礁
(撮影：国土館大学地理学教室 長谷川 均氏)

生きものが作った地形 サンゴ礁 熱帯・亜熱帯の海の外洋に面した海岸に見られる石灰岩でできた地形がサンゴ礁です。サンゴ礁は、イシサンゴ類をはじめとする造礁生物の石灰質の骨格が積み重なり、長い年月をかけて作り上げられてきました。サンゴ礁には、強い波にさらされる礁縁部や波の静かな礁池など複雑な地形があり、さまざまな生きものが共存する格好の環境となっています。



さまざまな形態の有藻性イシサンゴ類

イシサンゴという生きもの イシサンゴ類は、イソギンチャクに近縁な刺胞動物のなかまで、石灰質の硬い骨格を持ちます。イシサンゴ類のうち、褐虫藻という単細胞の藻類と共生しているものを有藻性イシサンゴ類といい、代表的な造礁生物です。日本には約400種の有藻性イシサンゴ類が生息しています。



イシサンゴを「かくれが」とするキイロハギ
(撮影：神奈川県立生命の星・地球博物館 内野啓道氏)

イシサンゴをめぐる動物たち サンゴ礁域には、イシサンゴと密接なかかわりを持って生活している動物がたくさん生息しています。これらの動物たちとイシサンゴ類との関係は、イシサンゴを「かくれが」とするもの、イシサンゴの枝の間に住むもの、イシサンゴの骨格の中に潜りこむもの、イシサンゴを食べものとするものなどさまざまです。



イシサンゴの枝の間に住むサンゴガニ
(撮影：串本海中公園センター 平林 勲氏)



イシサンゴに潜るイバラカンザシゴカイ



イシサンゴを食べるオニヒトデ

関連講座のお知らせ

講座「サンゴ礁の生きものたち」

マリンサイエンスギャラリーの詳しい展示解説を行うとともに、サンゴ礁域の興味深い生きものについてスライドを用いてくわしく紹介します。

日時：平成29年 3月 20日(月・祝) 13:00~14:30 / 定員20名 / 対象 小学校高学年以上(小学生は保護者同伴)

* 開催2週間前までに電子メール・ハガキ・ファックスのいずれかで海の博物館にお申し込みください。

応募多数の場合は抽選となります。